

令和7年度碧南市心身障害者福祉センター指定管理者審査委員会 会議録

1 日時

令和7年7月28日（月）午後2時から午後2時40分まで

2 場所

へきなん福祉センターあいくる 2階 デイルーム1

3 出席者

(1) 出席委員

碧南市 副市長 山本 政裕（委員長）

東海税理士会刈谷支部本会理事 伴野 義雄

碧南市身体障害者福祉協会代表 鈴木 たか子

碧南市手をつなぐ育成会代表 三浦 志朗

民生委員児童委員協議会代表 杉浦 義隆

碧南市 総務部企画政策課長 山本 貴史

(2) 事務局職員

福祉部長 伊藤 正博

福祉課長 磯貝 浩

福祉課福祉総務係長 金原 寛

(3) 指定管理者

碧南市社会福祉協議会 局長 中川 英治

碧南市社会福祉協議会 管理課長 榊原 圭司

碧南市社会福祉協議会 管理課課長補佐 池田 貴文

碧南市心身障害者福祉センター 菊田 武司

4 傍聴者

0名

5 議題

(1) 令和6年度管理状況及び利用状況について

(2) 令和6年度収支決算状況について

(3) 令和7年度事業計画について

(4) 令和7年度収支予算について

(5) その他

## 6 議事の要旨

(1) あいさつ（山本委員長）

(2) 議題

ア 「(1)令和6年度管理状況及び利用状況について」及び「(2)令和6年度収支決算状況について」を指定管理者が会議資料に基づき、議題(1)及び(2)を相互の関連があるため一括して説明した。その後、審議した結果、承認された。

<主な意見・質疑>

### 【委員】

障害者デイサービス事業の「カラオケ教室」を利用している。先生が現在おらず、忪がない。歌いっぱなしという状況が充実感もないため、新しい先生を見つけてほしい。

### 【指定管理者】

現在の先生は、お休みされており、並行して新しい先生を探している。利用者の中でも情報があれば提供してほしい。

### 【委員】

令和5年度では障害者デイサービス事業の1つであった「水泳教室」が、令和6年度から社会参加業務委託に変更となったと説明を受けたが、経緯を教えてください。

### 【指定管理者】

障害者デイサービス事業は社会適応訓練や日常生活訓練のために講師を設定して行う事業であるのに対し、社会参加事業は、出かける機会の少ない障害者の方が社会見学やレクリエーションなどの行事をとおして社会参加のきっかけとなることを目的とした事業である。元々水泳教室の実施形態を考えると、講師を設定して行う事業というよりは、社会参加に向けた安全監視業務という側面があったことから、変更した。

### 【委員】

水泳教室自体のやり方が変わったということではないということだが、人数が少なくなっている理由はあるか。

### 【指定管理者】

基本的にデイサービス全体的に参加者が減っているということもあるが、障害者

デイサービス事業での人数の中には令和5年度までは担当職員や介添者も人数に含めていたが、令和6年度からは実態に即し参加者のみをカウントするように集計方法を変更したことで、人数が減少したというデータとなっている。

**【委員】**

障害者デイサービス事業のうち、陶芸教室などの個人の作品は、本人に返却されるのか。展示会などを実施しているのか。

また、カラオケ教室や車いすダンス教室などの成果発表の場はあるか。

**【指定管理者】**

障害者作品展での展示のほか、あいくる内でも展示する場所があるので展示をしている。また、他の場所での展示会に出品する場合がある。展示会後に作品は本人へ返却される。

**【委員】**

カラオケ教室に参加しているが、碧南市と西尾市の合同で発表会を行っている。

イ (3)令和7年度事業計画について及び(4)令和7年度収支予算について指定管理者が会議資料に基づき、議題(3)及び(4)を相互の関連があるため一括して説明した。その後、審議した結果、承認された。

<主な意見・質疑>

**【委員】**

障害者デイサービス事業「カラオケ教室」の予算が減額されているが、先ほど先生がいなかったことであつたが、その影響か。

**【指定管理者】**

「カラオケ教室」の講師料が以前の先生と比べ、今回の先生は減額となったため、この予算額となっている。

**【委員】**

障害者デイサービス事業「パソコン教室」の予算額増の理由はなにか。

**【指定管理者】**

「パソコン教室」の実施にあたっては講師と支援員が担当しており、令和6年度までは支援員はボランティアとして入ってもらっていたが、令和7年度より実態に即して、謝礼を支払うこととし、予算を計上した。

**【委員】**

障害者デイサービス事業と社会参加業務委託事業の内容について、昨年度と変わっていないようだが、利用者からの要望の有無やメニューが増える計画などはあるか。

**【指定管理者】**

事業名としてあたらしいものはないが、利用者からは日々話を伺っている。中でも障害者デイサービス事業の「たのしいデー」というのが、様々な要望に応えられる内容となっており、要望が多いのがボッチャである。

**【委員】**

居場所提供事業の中でボッチャが複数開催されている。社会参加業務委託事業として開設することはしないのか。

**【指定管理者】**

居場所提供事業は、精神障害者居場所事業「ころころ」として実施しており、精神障害者の方を対象としている。そのため、障害者デイサービス事業や社会参加業務委託事業とは、企画方法などが違う側面がある。ただ、今後のやり方を検討できる部分もあると考える。

**【委員】**

ボッチャは人気があって、盲人卓球教室の中でも実施している。

**【委員】**

同じ内容ではマンネリ化が進んでいくと思う。心身障害者が色々取り組める状況を作ることが大切だと感じるため、新しい発想ができると良いと思う。

**【委員】**

日々、様々な意見はセンターに伝えているし、関連団体に対して、アンケートも実施してもらっている。

**【委員】**

居場所提供事業計画の中で、8月21日に予定されている「防災訓練・ころころトーク」の具体的な内容を教えてほしい。

**【指定管理者】**

あいくる内で年2回、防災訓練を行っている。あえて「ころころ」開催日に合わせて、防災訓練を実施し、「ころころ」参加者にも避難訓練に参加してもらってい

る。

ウ (5)その他議題  
特になし。